

職業訓練法人近畿建設技能研修協会（三田建設技能研修センター）

の今後の事業展開について

1 経緯及び現状

当センターは昭和57年7月、型枠工、とび工、鉄筋工及び建設機械運転士等の建設関連職種従事者に職業訓練を行うことにより、その技能の向上を図り、もって雇用の安定に資することを目的に設置された。

開設当初は、型枠施工、鉄筋施工、とび、配管の1、2級技能士コース(通信・通学制)を始め、車両系建設機械等の技能講習を中心に講習を行っていたが、順次、新入社員実務研修や土木施工管理等の座学系専門研修等を開設するとともに、技能講習も講習科目を拡大してきた。併せて平成20年からは工業高校生の就業体験受け入れにも取り組んできた。

平成26年度からは、厚生労働省の「地域人づくり事業」、「建設労働者緊急育成支援事業」等の建設産業への新規入職者確保という喫緊の課題に対応する施策に、当協会並びに当センターとして積極的に取り組んできたが、平成28年度においても、平成27年度に終了した「地域人づくり事業」以外の平成31年度までのタスクフォースである「建設労働者緊急育成支援事業」について、地方拠点が更に拡大することへの対応策としてレディメイド的に年度内4回の講習設定をするなど、引き続き当該事業に積極的に対応し建設業界への新規入職者確保事業に取り組んでいる。

また総合的な職業訓練体系(表1参照)の構築のため、これまでは行ってこなかった就職内定者のための「建設人材就職前準備研修」を平成27年度末に兵庫県建設業協会会員を対象に試行的に実施したが、平成28年度以降は試行結果を踏まえて他府県建設業協会会員等を対象に本格的に実施して入職後の定着率向上に寄与することとしている。

この内定者研修と一体的な位置づけともなる、入職後の6月に従来から実施している「新入社員実務研修(土木・建築)」については、来年度以降、受講対象者を技能者にも拡大することについて検討することとする。

オーダーメイド的研修として、特定企業からの要請に応じる形で、当該企業及び当該企業が傘下企業等を集約しての講習委託にも応じることとすると共に、商工会等の現地講習開催の要請にも積極的に対応している。

従来からの工業高校生の就業体験受け入れに加え、工業高校への出前講座にも取り組み、工業高校生の建設産業への入職支援を行っている。

従来から実施している技能講習等においては、受講機会の容易性確保のための土日開催を出来るだけ継続するとともに、専門研修においては、従来の土木施工管理技士資格取得試験対策講習に加え、建築施工管理技士資格取得試験対策講習を新たに開講するなど、新規講習開設にも積極的に取り組んでいる。

当協会・当センターのホームページについてもデザインの一新を図り、併せて受講申込みについてホームページを通じての申込みを新たに追加設定すると共に直近の各講習の空き状況が受講者にわかるようにするなど、受講者の利便性確保を図っている。

表1 職業訓練体系表

ステージ	就職前段階	就職内定段階	就職直後段階	定着段階
総合建設業向け	インターンシップ事業 出前講座	建設人材就職前準備研修	新入社員実務研修	土木積算・施工計画・施工管理
専門工事業向け	地域人づくり事業 建設労働者緊急育成支援事業	建設人材就職前準備研修	新入社員実務研修	鉄筋・配管・型枠・とび(1, 2級技能検定学科試験免除の通学・通信制及び実技試験直前講習)

2 課題

① 建設労働者緊急育成支援事業の講習受託について

平成27年度からの5年間のタスクフォースである厚生労働省の施策の「建設労働者緊急育成支援事業」については、建設産業への入職に繋げるため、包括受託者である建設業振興基金の地方拠点である、兵庫県建設業協会、建設産業専門団体近畿地区連合会及び高知県建設業協会からの受託事業として、失業者等を当センターに受け入れて、平成27年度は計4回の講習を実施した。

最初の講習は、平成27年10月から12月までそれまでの地域人づくり事業を踏襲し、16講習を約3か月に亘って実施したが、4回目の講習は、遠隔地からの受講者にも対応するため、技能講習を中心とした約20日間強の短期型講習を平成28年2月から3月にかけて行い、その成果も踏まえ平成28年度も同様の短期型講習を年度内に4回設定した。

27年度の2、3回目の講習は地方拠点である高知県建設業協会からの受託事業として平成28年1月と2月に行ったが、遠隔地であるため短期合宿型講習が前提となり更には高知県内で実施出来るものは高知県内で実施し、三田センターで実施せざるを得ない講習のみを当方に委託するという合理的思考で委託されたもので今後の遠隔地からの講習のあり方をも示唆する手法である。

平成28年度の各地方拠点からの講習受託において現在3回目の講習を実施しており、今月20日に閉講後、24日から4回目を開講する。

今年度はすべての回において約25日間の短期型講習としており、小型移動式クレーン等の技能講習修了書が付与出来る講習を中心に型枠、鉄筋、足場組立等の実技講習及び安全衛生等の座学で構成している。昨年度は長期型講習の中で左官の実技講習を行って受講生にも、ものづくりの観点から好評であったことから来年度の緊急育成事業においては全ての回において左官の講習を取り入れることとする。このためのいわばプレ入職段階での左官の講習内容やそれを教える講師の確保や養成の講習等について検討を行う。

② 左官の既入職者向け技能研修の実施について

当センターの設置以降の既入職技能者向け講習では、技能検定試験受験対策としての通学・通信制のとび、型枠、鉄筋、配管の各コースや実技試験対策の直前講習等は実施してきているが、それ以外の既入職者向けの、技能習得のコースは行っていない。今後は、現在の技能講習や新規入職者確保の取り組みの加えて、例えば「建設産業担い手確保・育成コンソーシアム プログラム・教材等ワーキンググループ」で検討されてきた、職業能力基準(左官)のレベル1の基準を技能として満たすような講習を新たに設けることとしたい。そのための講習内容や期間、時期、受講必要と思われる技能講習や安全衛生等、集中的にするのか、技能検定試験対策の通学制のような週1回ペースでの講習設定とするのか、等について先進訓練機関の富士教育訓練センターの講習内容等も参考に、また関係団体等とも協議しながら検討する。この受講生向け講習カリキュラムの検討と併せて、それを教える講師養成のカリキュラムについて並行して検討する。今年度内にこの左官の講習について検討して来年度に受講生向けの講習実施及び講師養成講習を実施したい。その後は、この左官の取り組みを踏まえて鉄筋、型枠等にも展開する。

3 検討方針

① 職業能力基準を踏まえてその基準技能習得のための講習内容、教材、期間等の検討

建設産業担い手確保・育成コンソーシアム プログラム・教材等ワーキンググループで成案化され関係団体等の意見聴取されている職業能力基準(左官)のレベル1(又はレベル1+レベル2)について、その基準の技能習得のために必要な講習内容、教材、講習期間、講習時期等について、関係団体等と協議して整理していく。講習期間については、既入職者を前提するので、集中的に連続して実施するのか、日々のOJTと組み合わせる形で、現行の技能検定学科試験対策講習のように週1回の通学制で実施するのも含め検討する。例えば講習後、次の講習までの間に受講内容を

現場等で OJT して次の講習時の最初に習得状況を確認後、新たな講習を行う等の進め方も含め検討する。このようにワーキンググループで整理されてきた、職業能力基準をそれに対応した講習内容設定の場で活用することで、技能者の有すべき職能や技術・技能を正しく評価し、当センターのような関連機関が教育訓練を行う場合の目安として新たなデファクトスタンダードとしての導入を目指す、ということにも繋がると考える。

また設定された職業能力基準習得の講習と併せて、必要とされる(所持することが望ましい)技能講習(小型移動式クレーン運転技能講習、高所作業車運転技能講習、フォークリフト運転技能講習等)や足場の組立等の業務に係る特別教育、及び労働安全衛生等の座学等についても講習の一環として組み込むべきものについて検討する。

なおこれらについてはレディメイドとして通常設定している技能講習を受講することで対応できることからそのことも含めて検討する。

② 講師養成講習等の検討

上記①の検討と並行して、当該講習を教える講師の養成講習について検討する。教えるべき講習内容が明らかになれば、それを教える講師が備えるべき技能、教授スキル等について検討し、そのための講習内容等について整理していく。左官技能講師養成講座として、研修企画として、研修の目標と評価方法、研修外実施内容、研修前・研修中・研修後に受講生(講師)が行うこと、等の検討や講習カリキュラム、講師の評価手法等についても検討する。

(詳細は左官工技能講師養成プロジェクト資料による。)

地域人づくり事業における左官講習写真





左官 時間割表

兵庫県地域人づくり事業（前期）

時間割 日 程	1 時限	2 時限	3 時限		4 時限	5 時限	6 時限
	9:00～ 10:00	10:00～ 11:00	11:00～ 12:00		13:00～ 14:00	14:00～ 15:00	15:00～ 16:00
第 1 日 8/10 (月) 実習場	材料を練る	鏝・鏝板の 使い方 壁塗り	〃	昼 食 ・ 休 憩	鏝・鏝板の 使い方 壁塗り	〃	片付け 清掃
第 2 日 8/11 (火) 実習場	鏝・鏝板の 使い方 壁塗り	〃	片付け清掃		泥団子 作成	〃	片付け 清掃